

1 学校関係者評価委員名

◆ 学校運営協議会委員 17人	
〈各役員〉【学校運営協議会 会長】	橋口 三智夫
【学校運営協議会 副会長】	江良 春隆
【地域学校協働活動本部 地域安全部会長】	濱崎 彰吾
【地域学校協働活動本部 学校応援部会長】	須崎 光輝 他

2 学校関係者評価

- (1) 豊かな心の育成 【学校関係者評価の数値 R6→R7】
- ・ 小中合同のあいさつ運動や、児童会中心による「あいさつ名人」の取組など、あいさつを広げる取り組みが行われた。【あいさつ・礼儀 3.3 →3.3】
 - ・ 教育相談、各種調査結果の分析により児童の状況把握やよさの賞賛と児童自身に伸びを実感させる取組が行われた。【一人一人の児童の尊重 3.5 ↘3.4】
 - ・ 人権旬間や人権週間の取組を通して人権教育の推進と充実が図られた。また、職員が相互に道徳科の授業を参観する取組を行うことで、道徳教育の深化を図られた。【心の教育、道徳教育 3.5 →3.5】
 - ・ 「学級力アンケート」による定期的な振り返りが行われた。アンケート結果を基に児童主体で行動目標を設定し取組が行われた。児童自らが学級運営に関わる活動を継続することで落ち着いた学校生活につながった。【規範意識 3.2 ↗3.4】
- (2) 確かな学力の育成
- ・ 学習のゴールの姿を児童と共有し見通しをもたせ、児童が「学び方」を学ぶ学習を意識して取り組まれた。また、一人一台端末を活用し、児童が相互に情報を共有したり振り返りを蓄積したりするなど授業改善が行われた。(学校運営協議会時、授業公開実施)【授業づくりの工夫3.6 →3.5 意欲的な学習態度3.6 →3.5】
- (3) 健康な心身の育成
- ・ 「引き渡し訓練」、「小中合同地震津波避難訓練」等、教育活動の様々な場面で安全教育への意識の向上と命を大切にすることを育む指導の徹底を地域や家庭と連携しながら進められた。引き続き、実践していく。【安全教育 3.8 →3.7】
 - ・ メディア家族会議の取組が継続され、家庭でメディアとの関わり方について考える機会となった。また、スマホ利用時間の増加・SNSに潜む危険性等について保護者啓発を進めるため、「情報モラル講習会」が行われた。
- (4) 社会に開かれた教育課程の実現
- ・ 運動会や学習発表会等、児童のよさや頑張りが見える児童主体の学校行事が設定された。学習発表会では、家庭や地域との連携した学習・各学年で学んだ学習内容等を各学年、工夫して発表された。【学校行事の工夫 3.6 ↘3.5】
 - ・ 地域学校協働活動における「もの・ひと・こと」との主体的な関わり合いをもたせた体験活動の充実が、より一層図られた。【地域との連携 3.6 ↗3.6】
 - ・ 学校便り、スクリレにより地域住民や保護者への情報発信がなされた。【学校からの情報発信 3.8 ↘3.4】
 - ・ 教育目標の具現化のための適切なランドデザインが作成され、学校運営協議会において共有された。今年度も児童による地域と連携した教育活動についての発表を行った。地域と児童生徒と対話することができ、有意義な会となった。

3 来年度の重点取組 (学校評価を踏まえた今後の方向性)

- (1) 豊かな心の育成
- ・ 笑顔で元気なあいさつを地域に広げる活動の活性化
 - ・ 規範意識の向上
- (2) 確かな学力の育成
- ・ 児童の学習意欲と基礎学力向上を目指した「主体的に粘り強く学び続ける児童の育成」を図る授業づくり
 - ・ 基本的な学習習慣の確立 (学習規律の徹底、家庭学習、読書活動)
 - ・ 様々な学力調査分析を基にした確かな学力の向上
- (3) 健康な心身の育成
- ・ 体力向上、SNS使用による心身の影響に関する保護者啓発、う歯治療100%
- (4) 社会に開かれた教育課程の実現
- ・ 学校運営協議会を通じた地域住民の教育活動への積極的な参画
 - ・ 児童による地域貢献活動への積極的参加
 - ・ 不登校児童の改善及びその予防につながる学級経営の充実

※A 4 表1枚に簡潔にまとめてください。(行幅やフォントサイズ等の変更可)